# ● ザンビア共和国との間の条約● の所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国と

# (略称)ザンビアとの租税(所得)条約

Ŧì	四	Ξ	=	_			
条	条	条	条	条	文	目	
不動産に係る所得 六四四	恒久的施設 六四二	締約国の居住者 六四一	定義	対象となる租税 六三九		次	昭和四十六年 一 月二十三日 効力発生昭和四十五年十二月二十四日 承認通知書交換昭和四十五年十二月二十四日 承認通知書交換昭和四十五年 五 月 十二 日 国会承認昭和四十五年 二 月 十九 日 ルサカで署名昭和四十五年 二 月 十九 日 ルサカで署名

第

六 条

企業の利得.....

第 第 第 前

第

第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第
第二十五条	第二十四条	第二十三条	第二十二条	第二十二	<del></del>	十九	十八八	七七	十六	+ H	十四	+ =	+	+	+	九	八	七
条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条	条
不服申立て及び両国当局間の協議 六六一	情報の交換 六六一	裸税に関する内国民待遇 六五九	重課税の排除方法	その他の所得 六五七	学生又は事業修習者への給付金等 六五七	教授又は教員に係る報酬 六五六	公務遂行に係る報酬 六五五	退職年企等	芸能人及び運動家の所得 六五五	役員報酬	勤務に関する報酬 六五三	自由職業所得	譲渡収益	使用料	利子	配当	特殊関係企業に係る利得 六四七	船舶又は航空機に係る利得 六四六
		74	/ \	u	u	/ \	11		11.	_		_		_	, •	_	J	· •

			$\circ$				
日		+}*	ザン	末	第	第二十七条	第
本	経	ン	ビア		<del>-</del>	+	第二十六条
挡	開	ア	/ の	文	第二十八条	4	糸
制	経済開発を促進するための特別の奨励措置	ザンビア側書簡	○ザンビアの経済開発を促進するための特別の奨励措置に関する交換公文 六六五	į	条	承	外交官及ひ領事官の特権
i	進	間	発		ポリ の ***	nić.	交官元
	3		を促		終了	効力	ひ
	ため		進す		及び	発生	領事
	の特		る た		適用	及 び	官の
	別の		めの		範囲	適用	特格
	奨励		特 別		Ī	の開	
	措置		の独			始	
i	<u>.</u>		励				
			置				
			関				
		į	3				
			交 換				
			公文				
							:
							:
			i				
					条約の終了及び適用範囲	承認、効力発生及び適用の開始 六六三	
: 六	: 六		: 六	: 六	: 六	: 六	: ナ
本側書簡	六六五	六六五	六 五	六大三	六 六	<u> </u>	ナ

国とザンビア共和国との間の条約 所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本

日本国及びザンビア共和国は、

締結することを希望して、 所得に対する租税に関し、 二重課税を回避するための条約を

次のとおり協定した。

#### 第 条

(1) この条約の対象である租税は、次のものとする。

(a) 所得税

日本国においては

(b) 法人税

住民税 (以下「日本国の租税」というの

(c)

ザ ンビアにおいては

(a) 所 得税

(b) 八頭税

(以下「ザンビアの租税」という。)

との条約は、 (1)に掲げる租税と実質的に類似の租税で、こ

ザンビアとの租税(所得)条約

(2)

TAXATION WITH RESPECT TO TAXES ON INCOME OF ZAMBIA FOR THE AVOIDANCE OF DOUBLE

CONVENTION BETWEEN JAPAN AND THE REPUBLIC

taxes on income, avoidance of double taxation with respect to Desiring to conclude a Convention for the Japan and the Republic of Zambia,

Have agreed as follows:

Article 1

Convention are: (1) The taxes which are the subject of this

In Japan:

(a) the income tax;

(b) the corporation tax; and

(c) the local inhabitant taxes

(hereinafter referred to as "Japanese

In Zambia:

tax").

(a) the income tax; and

(b) the personal levy

(hereinafter referred to as "Zambian tax").

(2) This Convention shall also apply to taxes substantially similar to those covered by

六三九

義

その改正後の妥当な期間内に、相互に通知するものとする。ある当局は、それぞれの国の税法について行なわれた改正を、られるものについても、また、適用する。両締約国の権限のの条約の署名の日の後にいずれか一方の締約国において設け

#### 第二人

# ほか、()との条約において、文脈により別に解釈すべき場合を除く

- の租税に関する法令が施行されているすべての領域をいう。()「日本国」とは、地理的意味で用いる場合には、日本国
- (1) 「ザンビア」とは、ザンビア共和国をいう。
- り、日本国又はザンビアをいう。 ( 一方の締約国)及び「他方の締約国」とは、文脈によ
- の租税をいう。()の租税をいう。()の租税とはザンビア)の「租税」とは、文脈により、日本国の租税又はザンビア
- (e) 「者」には、法人及び法人以外の社団を含む。
- 格を有する団体として取り扱われる団体をいう。()「法人」とは、法人格を有する団体又は租税に関し法人
- 締約国の居住者が営む企業をいう。は、それぞれ一方の締約国の居住者が営む企業及び他方のは、一方の締約国の企業」及び「他方の締約国の企業」と

paragraph (1) which are introduced in either Contracting State after the date of signature of this Convention. The competent authorities of the Contracting States shall notify to each other any changes which have been made in their respective taxation laws within a reasonable period of time after such changes.

## Article 2

- (1) In this Convention, unless the context otherwise requires:
- (a) The term "Japan", when used in a geographical sense, means all the territory in which the laws relating to Japanese tax are in force;
- (b) The term "Zambia" means the Republic of Zambia;
- (c) The terms "a Contracting State" and "the other Contracting State" mean Japan or Zambia, as the context requires;
- (d) The term "tax" means Japanese tax or Zambian tax, as the context requires;
- ) The term "person" includes a company any other body of persons;
- (f) The term "company" means any body corporate or any entity which is treated as a body corporate for tax purposes;(g) The terms "enterprise of a Contracting State" and "enterprise of the other Contracting State" mean respectively an

enterprise carried on by a resident of a

(h) ては、 限のある当局」とは、日本国については、

又は権限を与えられたその代理者をいい、ザンビアについ 税務長官又は権限を与えられたその代理者をいう。 大蔵大臣

(2)除くほか、 定義されていない用語は、文脈により別に解釈すべき場合を 方の締約国においてこの条約を適用する場合には、 この条約が適用される租税に関するその締約国の 特に

法令上有する意義を有するものとする。

(1) により当該一方の締約国において課税を受けるべきものとさ たる事務所の所在地、 方の この条約の適 締約国の法令の下において、住所、 用上、 「一方の締約国の居住者」とは、 管理の場所その他とれらに類する基準 居所、 本店又は主 当該

(2)れる者をいう。 ⑴の規定によつて双方の締約国の居住者となる個人につい 人が居住者であるとみなされる締約国を決定する。 権限のある当局は、 合意により、 との条約の適用上そ

> Contracting State and an enterprise carried on by a resident of the other Contracting

- sioner of Taxes or his authorized repreand, in the case of Zambia, the Commis-Finance or his authorized representative. sentative. in the case of Japan, the Minister of (h) The term "competent authority"
- State relating to the taxes to which this it has under the laws of that Contracting otherwise requires, have the meaning which otherwise defined shall, unless the context vention in a Contracting State, Convention applies. (2) As regards the application of this Conany term not

of head or main office, place of management by reason of his domicile, tracting State, any person who, under the law of that Conterm "resident of a Contracting State" means (1) For the purposes of this Convention, the or any other criterion of a similar nature. is liable to taxation therein residence, place

- paragraph (1) an individual is a resident of individual shall be deemed to be a resident ment the Contracting State of which that authorities shall determine by mutual agreeboth Contracting States, then the competent for the purposes of this Convention. (2) Where by reason of the provisions of
- vidual is a resident of both Contracting paragraph (1) a person other than an indi-(3) Where by reason of the provisions of

(3)

外

0 (1)

ものは、その者の本店又は主たる事務所が存在する締約 の規定によつて双方の締約国の居住者となる者で個人以

7	,	`
Į	,	Ц
-		_
-	•	

国の居住者とみなす。

#### 第四条

(1) ものをいう。 定の場所で、 この条約の適用上、 企業がその事業の全部又は一部を行なつている 「恒久的施設」とは、事業を行なら一

(a) 管理所 (2)

恒久的施設」

には、

特に、

次のものを含む。

- (b) 支店
- (c) 事務所
- (d) 工場
- (e) 作業場

(f)

鉱山、

採石場その他天然資源を採取する場所

- (g) 月をこえる期間存続するもの 建築工事現場又は建設若しくは組立ての工事で、十二箇
- (3) 「恒久的施設」については、次のことは、含まれないもの
- とする。 又は引き渡すため、施設を使用すること。 企業に属する物品又は商品をもつばら保管し、展示し、

States, its head or main office is situated. resident of the Contracting State in which then it shall be deemed to be a

## Article 4

(1) For the purposes of this Convention, the term "permanent establishment" means a fixed place of business in which the business of the enterprise is wholly or partly carried

includes especially: (2) The term "permanent establishment"

(a) a place of management;

- (b) a branch;
- (c) an office;

(d) a factory;

- (e) a workshop;
- (f) a mine, quarry or other place extraction of natural resources;
- (3) The term "permanent establishment" shall not be deemed to include: (g) a building site or construction or assembly project which exists for more than twelve months.
- (a) the use of facilities solely for the enterprise; of goods or merchandise belonging to the purpose of storage, display or delivery

- (b) 企業に属する物品又は商品の在庫を、 又は引き渡すため、 保有すること。 もつばら保管し、
- (c) K よる加工のため、 企業に属する物品又は商品の在庫を、 保有すること。 もつばら他の企業
- $(\mathbf{d})$ ہے ح 情報を収集するため、 企業のためにもつばら物品若しくは商品を購入し、又は 事業を行なら一定の場所を保有する
- (e) はこれらに類する準備的若しくは補助的な性質の活動を行 なうため、 企業のためにもつばら広告、情報の提供、 事業を行なり一定の場所を保有すること。 科学的調 査又
- (4) 入することに限られる場合は、この限りでない。 ただし、その者の行動が当該企業のために物品又は商品を購 その者は、 結する権限を有し、 一方の締約国内で他方の締約国の企業に代わつて行動する (⑤の規定が適用される独立の地位を有する代理人を除く。) 当該一方の締約国内における恒久的施設とされる。 方の締約国内で、 かつ、 これを常習的に行使する場合には、 当該企業の名において契約を締
- (5)有 する代 一方の締約国の企業は、仲立人、 のを通じて他方の締約国内で事業活動を行なつていると . 理人でこれらの者としての業務を通常の方法で行な 問屋その他独立の地位を

ザンビアとの租税(所得)条約

- (b) the maintenance of a stock of goods or solely for the purpose of storage, display merchandise belonging to the enterprise or delivery;
- (c) the maintenance of solely for the purpose of processing by merchandise belonging to the enterprise another enterprise; a stock of goods or
- (d) the maintenance of a fixed place of collecting information, for the enterchasing goods or merchandise, or for business solely for the purpose of pur-
- (e) the maintenance of a fixed place of similar activities which have a premation, for scientific research or for advertising, for the supply of inforbusiness solely for the purpose of enterprise. paratory or auxiliary character, for the
- goods or merchandise for the enterprise. activities are limited to the purchase of in the name of the enterprise, unless his State, habitually exercises in that Contracting mentioned Contracting State if he has, and permanent establishment in the firstof an independent status to whom paragraph Contracting State -- other than an agent on behalf of an enterprise of the other (5) applies -- shall be deemed to be a (4) A person acting in a Contracting State an authority to conclude contracts
- shall not be deemed to have a permanent merely because it carries on business establishment in the other Contracting State (5) An enterprise of a Contracting State

いう理由のみでは、 ものとされることはない。 当該他方の締約国内に恒久的施設を有す

(6) 方の法人も、 らに支配されているという事実のみによつては、 じ若しくは通じないで事業を行なり法人を支配し、又はこれ 者である法人若しくは他方の締約国において恒久的施設を通 方の締約国の居住者である法人が、 他方の法人の恒久的施設であることとはならな 他方の締約国の居住 いずれの一

#### 第五条

係る所得不動産に

(1)

不動産から生ずる所得に対しては、当該不動産が存在する

(2)利の対価として料金(金額が確定しているかどうかを問わな 用益権並びに鉱石、 附属する財産、農業又は林業に用いられている家畜類及び設 よるものとする。不動産には、 締 。)を受け取る権利を含む。 約国において租税を課することができる。 「不動産」の定義は、当該財産が存在する締約国の法令に 不動産に関する一般法の規定の適用がある権利、 水その他の天然資源の採取又は採取の権 船舶及び航空機は、不動産とは いかなる場合にも、不動産に 不動産

#### that other Contracting State through a course of their business. such persons are acting in other agent of an independent status, where broker, general commission agent or any the ordinary

either company a permanent establishment shall not of itself constitute for a permanent establishment or otherwise), of the other. other Contracting State (whether through or which carries on business in that resident of the other Contracting State, or is controlled by a company which is a resident of a Contracting State controls (6) The fact that a company which is

## Article

fixed payments as consideration for the workmovable property and rights to variable or immovable property apply, usufruct of imagriculture and forestry, rights to which property, livestock and equipment used in case include property accessory to immovable question is situated. Contracting State in which the property in defined in accordance with the law of the property is situated taxed in the Contracting State in which such (1) Income from immovable property may be the provisions of general law respecting (2) The term "immovable property" shall be The term shall in any

賃貸その他のすべての形 (3) The provisions of paragraph (1) shall

movable property.

and aircraft shall not be regarded as imsources and other natural resources; ships ing of, or the right to work, mineral deposits,

(3)

(1)の規定は、

不動産の直接使用、

式による使用から生ずる所得について適用する。

#### 第六条

(1) られる部分につい **う場合には、** 業を行なわない限り、 にある恒久的施設を通じて当該他方の締約国内で事業を行な することができる。 することができる。 約国内にある恒久的施設 一方の締 約国の企業の利得に対しては、 その企業の利得に対し、 てのみ、 一方の締 当該 当該他方の締約国において租税を を通じて当該他方の締約国内で事 方の締 約国の企業が他方の締 約国にお 当該恒久的施設に帰せ その企業が他方の 5 てのみ租税を 約国 内

(2)国において、 通じて当該他方の締約国内で事業を行なり場合には、 は類似の活動を行ない、 業であるとすれば、 .が、当該恒久的施設に帰せられるものとする。 一方の締約国の企業が他 全く独立の立場で、 当該恒久的施設が同一又は類似の条件で同一又 当該恒久的施設が取得するとみられる利 かつ、 取引を行なり別個の 一方の 当該恒久的施設を有する企業 締約国内にある恒久的施 かつ分離した企 各締約 設を

とする。 恒久的施設の利得を決定するに際しては、経営費及び一般の 恒久的施設が存在する締約国内で生じたか又は他の場所をの恒久的施設が存在する締約国内で生じたか又は他の場所を理費を含む費用で、その恒久的施設のために生じたものは、

apply to income derived from the direct use, letting, or use in any other form of immovable property.

## rticle (

(1) The profits of an enterprise of a Contracting State shall be taxable only in that Contracting State unless the enterprise carries on business in the other Contracting State through a permanent establishment situated therein. If the enterprise carries on business as aforesaid, the profits of the enterprise may be taxed in the other Contracting State but only so much of them as is attributable to that permanent establishment.

(2) Where an enterprise of a Contracting State carries on business in the other Contracting State through a permanent establishment situated therein, there shall in each Contracting State be attributed to that permanent establishment the profits which it might be expected to make if it were a distinct and separate enterprise engaged in the same or similar activities under the same or similar conditions and dealing wholly independently with the enterprise of which it is a permanent establishment.

(3) In the determination of the profits of a permanent establishment, there shall be allowed as deductions expenses which are incurred for the purposes of the permanent establishment including executive and general administrative expenses so incurred, whether in the Contracting State in which the permanent establishment is situated or elsewhere.

・ンビアとの租税(所得)条約

(4)

(2)

の規定は、

恒 人的

施設に帰

世

られるべき利得を企

業の

- 分の方法によつて決定することを妨げるものではない。 慣行が一方の締約国において行なわれている場合には、 との条に規定する原則に適合するようなものでなければなら 締約国が租税を課されるべき利得をその慣行とされている配 S . の 用いられる配分の方法は、その方法によつて得た結果が 総額の当該 企業の各構成部 分への 配 分によつて決定する その ただ
- (5) 購入を理由としては、 れることはない。 恒久的 施設が企業のために行なつた物品又は商 V かなる利得もその恒久的施設に帰 品の単 なる 世
- (6)別の方法を用いることについて正当な理由があるときは、 限りでない。 から(5) 毎年同一の方法によつて決定するものとする。ただし、 までの規定の適用上、 恒久的施設に帰せられる利 ح
- (7)含まれる場合には、 つて影響されることはない。 他の条で別個に取り扱われている種類の所得が企業の利得 これらの条の規定は、 との条の規定に

#### 化全条

5 ことによつて取得する利得に対しては、 てのみ租税を課することができる。 方の 締 約国 の企業が 船舶又は航空機を国際運輸に運用する 当該一 方の締約国に

- however, be such that the result shall be method of apportionment adopted shall an apportionment as may be customary; the determining the profits to be taxed by such shall preclude that Contracting State from various parts, total profits of the enterprise to its ment on the basis of an apportionment of the to be attributed to a permanent establish-Contracting State to determine the profits (4) Insofar as it has been customary in in this Article. in accordance with the principles laid down nothing in paragraph (2)
- mere purchase by that permanent establishprise. ment of permanent establishment by reason of the (5) No profits shall be attributed to goods or merchandise for the enter-
- by the same method year by year unless there permanent establishment shall be determined graphs, the profits to be attributed to the sions of those Articles shall not be affected Articles of this Convention, then the proviwhich are dealt with separately in other is good and sufficient reason to the contrary. (7) Where profits include items of income (6) For the purposes of the preceding para-

# Article

by the provisions of

this Article.

shall be by an enterprise of a Contracting State aircraft in international traffic carried Profits from the operation of ships or taxable only in that Contracting

お

(1)

方の締

約国の居住者である法人が他方の締約国の居住者

当該他方の締約国においてのみ租

第九条

(2)

(1)の規定は、

配当に充てられる利得につい

ての当該法人に

are paid.

税を課することができる。に支払う配当に対しては、

対する課税に影響を及ぼすものではない。

#### 第八条

しくは資本に直接若しくは間接に参加する場合又は(4)一方の締約国の企業が他方の締約国の企業の経営、支配

その企業の利得に算入して課税することができる。 その条件のために当該一方の企業の利得とならなかつたものは、であつて、そのいずれの場合においても、双方の企業間に設けられる条件と異なる条件が設けられ又は課されるときは、その条件のために当なの関係においても、双方の企業の間に、であつて、そのいずれの場合においても、双方の企業の間に、であつて、そのいずれの場合においても、双方の企業の間に、であつて、そのいずれの場合においても、双方の企業の間に、であった。 という はい 同一の者が一方の締約国の企業のできる。

#### Where

Article

若

(a)

- an enterprise of a Contracting State participates directly or indirectly in the management, control or capital of an enterprise of the other Contracting State, or
- (b) the same persons participate directly or indirectly in the management, control or capital of an enterprise of a Contracting State and an enterprise of the other Contracting State, and in either case conditions are made or imposed between the two enterprises in their commercial or financial relations which differ from those which would be made between independent enterprises, then any profits which would, but for those conditions, have accrued to one of the enterprises, but, by reason of those conditions, have not so accrued, may be included in the profits of that enterprise

## Article 9

and taxed accordingly.

(1) Dividends paid by a company which is a resident of a Contracting State to a resident of the other Contracting State shall be taxable only in that other Contracting State.

(2) The provisions of paragraph (1) shall not affect the taxation of the company in respect of the profits out of which the dividends

ザンビアとの租税(所得)条約

子

れるものをいう。である締約国の税法上株式から生ずる所得と同様に取り扱わである締約国の税法上株式から生ずる所得と同様に取り扱わ他の持分から生ずる所得であつて分配を行なう法人が居住者他の持分から生ずる所得で係る債権を除くのから生ずる所得及びそのの、この条において「配当」とは、株式その他利得の分配を受

(4) 1)の規定は、一方の締約国の居住者である配当の受領者が、その配当の支払の基因となつた株式又は持分と実質的に関連する恒久的施設を有する場合には、適用しない。この場合には、その配当を支払り法人が居住者である他方の締約国内に、その配当を支払り法人が居住者である配当の受領者が、

第六条の規定が適用される。

当該留保所得に対して留保所得税を課することができない。配当に対していかなる租税をも課することができず、また、の法人の留保所得については、これらの全部又は一部が当該の法人の留保所得については、これらの全部又は一部が当該及は所得を取得する場合には、当該他方の締約国は、その法又は所得を取得する場合には、当該他方の締約国は、その法の法のの統約国の居住者である法人が他方の締約国から利得の場合に対して、

#### 第十条

(3) The term "dividends" as used in this Article means income from shares or other rights, not being debt-claims, participating in profits, as well as income from other corporate rights assimilated to income from shares by the taxation law of the Contracting State of which the company making the distribution is a resident.

(4) The provisions of paragraph (1) shall not apply if the recipient of the dividends, being a resident of a Contracting State, has in the other Contracting State, of which the company paying the dividends is a resident, a permanent establishment with which the holding by virtue of which the dividends are paid is effectively connected. In such a case, the provisions of Article 6 shall apply.

(5) Where a company which is a resident of a Contracting State derives profits or income from the other Contracting State, that other Contracting State may not impose any tax on the dividends paid by the company to persons who are not residents of that other Contracting State, or subject the company's undistributed profits to a tax on undistributed profits consist wholly or the undistributed profits consist wholly or partly of profits or income arising in that other Contracting State.

## Article 10

(1) Interest arising in a Contracting State and paid to a resident of the other Contracting State may be taxed in that other Contracting State.

- とする。
   程税の額は、当該利子の金額の十パーセントをこえないもの、
  の締約国の法令に従つて租税を課することができる。その、()(1の利子に対しては、当該利子が生じた締約国において、()
- まる。 支払われるものについては、当該一方の締約国の租税を免除 若しくは地方公共団体が所有する[6]属(金融機関を含む。)に 他方の締約国の政府若しくは地方公共団体又はこれらの政府 (3) ②の規定にかかわらず、一方の締約国内で生ずる利子で、
- (4) この条において「利子」とは、公債、債券又は社債(担保)。
- 適用しない。との場合には、第六条の規定が適用される。じた債権と実質的に関連する恒久的施設を有する場合には、領者が、その利子が生じた他方の締約国内に、その利子を生(5)(1)及び(2)の規定は、一方の締約国の居住者である利子の受
- (6) 利子は、その支払者が一方の締約国又はその地方公共団体

サンピアとの租税

(所得)

- (2) However, such interest may be taxed in the Contracting State in which it arises, and according to the laws of that Contracting State, but the tax so charged shall not exceed 10 per cent of the gross amount of the interest.
- (3) Notwithstanding the provisions of paragraph (2), interest arising in a Contracting State and paid to the Government of the other Contracting State or local authority thereof or any agency or instrumentality (including financial institution) wholly owned by that Government or local authority shall be exempt from tax of the first-mentioned Contracting State.
- (4) The term "interest" as used in this Article means income from Government securities, bonds or debentures, whether or not secured by mortgage and whether or not carrying a right to participate in profits, and debt-claims of every kind, and any excess of the amount repaid in respect of such debt-claims over the amount lent, as well as all other income assimilated to income from money lent by the taxation law of the Contracting State in which the income arises.
- (5) The provisions of paragraphs (1) and (2) shall not apply if the recipient of the interest, being a resident of a Contracting State, has in the other Contracting State in which the interest arises a permanent establishment with which the debt-claim from which the interest arises is effectively connected. In such a case, the provisions of Article 6 shall apply.
- (6) Interest shall be deemed to arise in a Contracting State when the payer is that

当該恒久的施設について生じ、 とされる。 有する場合において、 あるかどうかを問わない。)が一方の締約国内に恒久的施設を 若しくは居住者である場合には、 ただし、 利子の支払者(一方の締 その利子を支払う基因となつた債務が かつ、その利子を当該恒久的 当該恒久的施設が存在 約国の居 住者で

(7)

する締約国内で生じたものとされる。 施設が負担するときは、その利子は、 その締約国内で生じたもの

Contracting State itself, a local authority which the interest is paid was incurred, and connection with which the indebtedness on Where, however, the person paying the or a resident of that Contracting State. establishment, then such interest shall be such interest is borne by such permanent ing State a permanent establishment in Contracting State or not, has in a Contractinterest, whether he is a resident of a which the permanent establishment is situated. deemed to arise in the Contracting State in

of the interest paid, both of them and some other person, excess part of the payments shall remain absence of such relationship, the proviby the payer and the recipient in the amount which would have been agreed upon debt-claim for which it is paid, exceeds the between the payer and other provisions of this Convention. tracting State, due regard being had to the taxable according to the law of each Conlast-mentioned amount. sions of this Article shall apply only to the (7) Where, owing to a special relationship having regard to the the recipient or between In that case, the amount

らば支払者及び受領者が合意するとみられる金額をこえると なつた債権を考慮する場合において、その関係がなかつたな

その合意するとみられる金額につい

支払われた金額のうち超過

関係により、支払われた利子の金額が、その支払の基因と

支払者と受領者との間又はその双方と第三者との間の特

別

## Article

ing State may be taxed in that other Conand paid to a resident of the other Contract-(1) Royalties arising in a Contracting State tracting State.

royalties. State, but the tax so charged shall not exceed according to the laws of that Contracting the Contracting State in which they arise, (2) However, such royalties may be taxed in 10 per cent of the gross amount of the

分に対し、

締約国の法令に従つて租税を課することができる。

との条約の他の規定に妥当な考慮を払つたうえ、

てのみ適用する。この場合には、

きは、この条の規定は、

使 用 料

(2)(1) て、 その租税の額は、 る る 使用 (1)の使用料に対し ことができる。 その締約国の法令に従つて租税を課することができる。 方の締約国内で生じ、 料に対しては、 当該使用料の金額の十パーセントをこえな しては、 当該他方の締約国にお 他方の締 当該使用料が生じた締約国におい 約国の居住者に支払われ いて租税を課す

ものとする。

との

VC

お

5 7

一使用料」とは、

文学上、

美術上若

しく

は

商標権、

意匠若しくは模

型、

図面、

秘密方式若

しくは秘密工

)使用:

若

しくは使用

の権利

0

対価として、

産業上、

商業上

術上の著作物

(映画

Iフィル

ムを含む。)の著作権、

特許

権、

しくは学術上の設備の使用

商業上若し

くは学術上の経験 若しくは使用の

に関する情報 , う。

権

利の対価

とし

種類の支払金をい

(4) 受領者が、 する場合には、 料を生じた権利又は財産と実質的に関連する恒 用されるo 及び(2) その使用料が生じた他方の の規定は、 適用しない。 一方の この場合には、 締約 国の居住者である 締約国内に、 第六条の規 1久的 使用 その使用 施設を有 定 料 0

体若 者であるかどうかを問 のとされ を有する場合におい 使用 しくは居住者である場合には、 が負担するときは、 る。 施設について生じ、 は、 ただし、 その支払 て、 .わない。)が一方の 使用料の支払者 者 その使用料は、 が一方の締約国又はそ その使用料を支払うべき債 かつ、 その その使用料を当 )締約 当該恒久的 \_ 締 方の締 約 国内 国内で生じ 0 ĸ 約 地 施設 一該恒 恒 国 方 **人的施** 公公共 務 |の居住 人的 たも が存 が 団

(5)

0 関係により、 支払者と受領者との間又はその双方と第三者との間の特別 支払われ た使用 料 0 金額が、 その支払 の基因

| 約国内で生じたものとする。

ンビアとの租税

(所得)条約

(6)

trial, commercial or scientific experience. or for information concerning industrial, for the use of, or the right to use, indusor model, plan, secret formula or process, or tograph films, any patent, trade mark, design artistic or scientific work including cinemaright to use, as a consideration for the use of, or the Article means payments of any kind received (3) The term "royalties" as used in this commercial, any copyright of literary, or scientific equipment,

effectively connected. In such a case, perty giving rise to the royalties is establishment with which the right or proin which the royalties arise a permanent State, has in the other Contracting State royalties, being a resident of a Contracting shall not apply if the recipient of the the provisions of Article 6 shall apply.

(4) The provisions of paragraphs (1) and

(2)

Contracting State in which royalties shall be deemed to arise in the by such permanent establishment, then such was incurred, and such royalties are borne which the liability to pay the royalties permanent establishment in connection with State or not, has in a Contracting State a whether he is a resident of a Contracting however, a resident of that Contracting tracting State itself, a local authority or Contracting State when the payer is that Conestablishment is situated. (5) Royalties shall be deemed to arise in a the person paying the royalties, the State. permanent

the amount of the royalties paid, having between both of them and some other person, between the payer and the recipient (6) Where, owing to a special relationship

る金額をこえるときは、この条の規定は、 関係がなかつたならば支払者及び受領者が合意するとみられ 慮を払つたらえ、 となつた使用、 た金額のうち超過分に対し、 られる金額についてのみ適用する。この場合には、 できる。 権 |利又は情報を考慮する場合におい 各締約国の法令に従つて租税を課すること との条約 の他の規定に妥当な考 その合意するとみ て、 支払われ その

### 第十二条

(1)は、 第五条②に定義する不動産の譲渡から生ずる収益に対して 当該不動産が存在する締約国において租税を課すること

(2)< 舶又は航空機 に行なわれる当該恒久的施 て使用することができる固 つて取得する収益については、 住者が国 から生ずる収益 。)の譲渡 事業用資産の一部をなす財産 できる。 いて租税を課することができる。ただし、一方の締 方の締 居 から生ずる収益 住者が自由職業を行 約 際運輸 3の運 国 一の企 を含む。)に対しては、 |用に係る財産(不動産を除く。)の譲 に運用する船舶又は航空機及びこれ **三業が他方の締約国内に有する恒** 設の譲渡又は当該固 定的施設に係る財産 (単独に若しくは企 他方の締約国の租税を免除 なうため他方の締約国にお (不動産を除く。)又は一方の 当該他方の締約国に 定的施 業全体ととも (不動産を除 久的施 約国の 破波によ らの船 設の譲 設

> regard to the use, right or information which would have been agreed upon by the which they are paid, exceeds the amount law of each Contracting State, Article shall apply only to the last-mentioned such relationship, the provisions of this payer and the recipient in the absence of Convention. being had to the other provisions of this payments shall remain taxable according to the amount. In that case, the excess part of the 10T

# Article 12

(1) Gains from the alienation of immovable

property, as defined in paragraph (2) of Article 5, may be taxed in the Contracting with the whole enterprise) or of such a fixed permanent establishment (alone or together such gains from the alienation of such a other Contracting State for the purpose of property pertaining to a fixed base available State or of property other than immovable tracting State has in the other Contracting establishment which an enterprise of a Conof the business property of a permanent other than immovable property forming part State in which such property is situated ships or aircraft operated in international State. However, gains derived by a resident base, may be taxed in that other Contracting performing professional services, including to a resident of a Contracting State in the (2) Gains from the alienation traffic and property other than immovable property pertaining to the operation of State from the alienation of of property

(3)国においてのみ租税を課することができる。 産の譲渡によつて取得する収益に対しては、 方の )締約国 の居住者が⑴及び⑵ に規定する財産以外の財 当該一方の締約

### 第十三条

(1)てのみ、 する。その者がそのような固定的施設を有する場合には、 動を遂行するために通常使用することができる固 の活動に 所得に対しては、 方の締約国内に 方の 当該他方の締約国に 関して取 締約国の 有しない限り、 得する所得については、 居住者が自由職業その他とれに類する独 当 |該固 定的施設に帰せられる部分につい おいて租税を課することができ 他方の締約国の租税を免除 その者が自己の活 定的施設を 当

### - 医師及び公認会計士の独立の活動を含む。 「自由 の独立の活動並びに医師、 職業」には、 特に、学術上、 弁護士、技術士、 文学上、美術上及び教

建築士、

歯

(2)

## 第十四条

(1) が他方の締約国内で行なわれない限り、 を除くほか、 第十五条、 賃金その他とれらに類する報酬については、 一方の締約国の居住者が勤務に関して取得する 第十七条及び第十八条の規定が適用される場合 当該他方の締約国の その 勤務

ンビアとの租税(所得)条約

# of the other Contracting State. ships or aircraft shall be exempt from tax

other than those mentioned in paragraphs (1) tracting State. and (2) shall be ing State from the alienation of any property (3) Gains derived by a resident of a taxable only in that Con-Contract-

of it as is attributable to that fixed base. that other Contracting State but only so much a fixed base, the income may be taxed in of performing his activities. If he has such that other Contracting State for the purpose fixed base regularly available to him in similar character shall be exempt from tax of services or other independent activities of a tracting State in respect of professional (1) Income derived by a resident of a Conthe other Contracting State unless he has a

activities as well as the independent activicludes especially independent scientific, architects, dentists and accountants. ties of physicians, lawyers, engineers, literary, artistic, educational or teaching (2) The term "professional services" in-

tracting State unless the employment is shall be exempt from tax of the other Con-Contracting State in respect of an employmen remuneration derived by a resident of 17 and 18, salaries, (1) Subject to the provisions of Articles 15, wages and other similar

#### 六五三

- において租税を課することができる。は、その勤務から生ずる報酬に対しては、当該他方の締約国租税を免除する。勤務が他方の締約国内で行なわれる場合に
- ことを条件として、当該他方の締約国の租税を免除する。約国内で行なう勤務に関して取得する報酬については、次の② ⑴の規定にかかわらず、一方の締約国の居住者が他方の締
- (a) その報酬の受領者がその年を通じて合計百八十三日をと
- えない期間当該他方の締約国内に滞在し、

(b)

これに代わる者から支払われ、

かつ、

その報酬が当該他方の締約国の居住者でない雇用者又は

- 施設又は固定的施設によつて負担されないこと。 (ローその報酬が当該他方の締約国内に雇用者の有する恒久的
- ができる。 する報酬に対しては、その締約国において租税を課すること 運輸に運用する船舶又は航空機において行なわれる勤務に関

## 第十五条

役員の資格で取得する報酬に対しては、当該他方の締約国にお一方の締約国の居住者が他方の締約国の居住者である法人の

exercised in the other Contracting State. If the employment is so exercised, such remuneration as is derived therefrom may be taxed in that other Contracting State.

- (2) Notwithstanding the provisions of paragraph (1), remuneration derived by a resident of a Contracting State in respect of an employment exercised in the other Contracting State shall be exempt from tax of that other Contracting State if:
- (a) the recipient is present in that other Contracting State for a period or periods not exceeding in the aggregate 183 days in the calendar year concerned, and
- (b) the remuneration is paid by, or on behalf of, an employer who is not a resident of that other Contracting State, and
- (c) the remuneration is not borne by a permanent establishment or a fixed base which the employer has in that other Contracting State.
- (3) Notwithstanding the provisions of paragraphs (1) and (2), remuneration in respect of an employment exercised aboard a ship or aircraft operated in international traffic by an enterprise of a Contracting State may be taxed in that Contracting State.

# Article 15

Remuneration derived by a resident of a Contracting State in his capacity as a member of the board of directors of a company which

酬に公 係 る 報行		等退 職 年 金		の び 連 能 人 及		
に支払う報酬(退職年金を除く。)に対しては、日本国にお報 提供された役務につき日本国又はその地方公共団体が個人は、 政府の職務の遂行として日本国又はその地方公共団体に	第十八条	をあっ で対し、当該一方の締約国においてのみ租税を課することがでに対し、当該一方の締約国の租税を課される場合には、その報酬につき当該一方の締約国の租税を課される場合には、その報酬につき当該一方の締約国の租税を課される場合を除くほか、一方の締約国の居住者である個人が、過去の勤務について取得する退職年国の居住者である個人が、過去の勤務について取得する退職年	第十七条	ことができる。 しては、その活動が行なわれる締約国において租税を課するとしては、その活動が行なわれる締約国におつて取得する所得に対家がこれらの者としての個人的活動によつて取得する所得に対象がとれたいビジョンの俳優、音楽家その他の芸能人及び運動を計画条の規定にかかわらず、演劇、映画、ラ	第十六条	いてその法令に従つて租税を課することができる。
(1) (a) Remuneration (other than pensions) paid by Japan or a local authority thereof to any individual in respect of services rendered to Japan or a local authority thereof in the discharge of governmental functions may be	Article 18	Subject to the provisions of paragraph (2) of Article 18, pensions and other similar remuneration derived from sources within a Contracting State in consideration of past employment by an individual who is a resident of the other Contracting State and subject to tax in respect thereof in that other Contracting State shall be taxable only in that other Contracting State shall be taxable only in that other	Article 17	Notwithstanding the provisions of Articles 13 and 14, income derived by public entertainers, such as theatre, motion picture, radio or television artistes, and musicians, and by athletes, from their personal activities as such may be taxed in the Contracting State in which these activities are exercised.	Article 16	is a resident of the other Contracting State may be taxed in that other Contracting State in accordance with the law of that other Contracting State.

六五五

ザンビアとの租税(所得)条約

には、ザンビアの租税を免除する。が当該役務を提供するためにのみザンビアに居住する場合は、その個人がザンビアの居住者でない場合又はその個人いて租税を課することができる。そのような報酬について

日本国の租税を免除する。日本国の租税を免除する。日本国の租税を免除することを許可された者でない場合には、ため日本国に入国することを許可された者でない、永住のついては、その個人が日本国の国民でなく、かつ、永住のアにおいて租税を課することができる。そのような報酬に提供された役務につきザンビア又はその地方公共団体が、政府の職務の遂行としてザンビア又はその地方公共団体の、政府の職務の遂行としてザンビア又はその地方公共団体の、政府の職務の遂行としてザンビア又はその地方公共団体の、政府の職務の遂行としてザンビア又はその地方公共団体の、政府の職務の遂行として、

(2) 政府の職務の遂行として一方の締約国又はその地方公共団(2) 政府の職務の遂行として一方の締約国又はその地方公共団体に対して基金から支払われる退職年金に対しては、当該一方の締約国若しくはその地方公共団体によつて支払われ又は当該一方の税を課することができる。

い。 関連して提供された役務に関する給付については、適用しな関連して提供された役務に関する給付については、適用しな3) この条の規定は、利得を得る目的で行なり営業又は事業に

第十九条

る教授又は教員で、現に他方の締約国の居住者であり、又は訪ため一方の締約国を訪れ、二年をこえない期間一時的に滞在す大学、学校その他の教育機関において教育又は研究を行なり

taxed in Japan. Such remuneration shall be exempt from Zambian tax if the individual is not resident in Zambia or is resident in Zambia solely for the purpose of rendering those services.

(b) Remuneration (other than pensions) paid by Zambia or a local authority thereof to any individual in respect of services rendered to Zambia or a local authority thereof in the discharge of governmental functions may be taxed in Zambia. Such remuneration shall be exempt from Japanese tax if the individual is not a national of Japan or is not admitted to Japan for permanent residence therein.

(2) Pensions paid by, or out of funds to which contributions are made by, a Contracting State or a local authority thereof to any individual in respect of services rendered to that Contracting State or a local authority thereof in the discharge of governmental functions shall be taxable only in that Contracting State.

(3) The provisions of this Article shall not apply to payments in respect of services rendered in connection with a trade or business carried on for the purpose of profits.

Article 19

A professor or teacher who makes a temporary visit to a Contracting State for a period not exceeding two years for the purpose of teaching or conducting research at a university, college, school or other edu-

つばら教育又は訓練を受けるため一方の締約国内に滞在す

を免除される。

は研究に関して取得する報酬につき、

当該一方の締約国の租税

れる直前に他方の締約国の居住者であつたものは、その教育又

ては、 相 合に限るものとし、 当該一方の締約国の租税を免除する。ただし、当該給付につい る学生又は事業修習者で現に他方の締約国の居住者であり、 て千合衆国ドル又は日本国若しくはザンビアの通貨によるその 方の締約国内で提供される人的役務について受け取るものであ はその滞在の直 当額をこえないものである場合に限る。 継続して三課税年度をこえない期間、 それが当該一方の締約国外から支払われるものである場 教育又は訓練のために受け取る給付又は所得については、 前に他方の締約国の居住者であつたものがその また、 当該所得については、それが当該一 各課税年度におい 又

## 第二十一条

とができる。 Ø に対しては、 方の締約国 当該 の居住者の所得で前諸条に明文の規定がないも 一方の締約国においてのみ租税を課すると

> cational institution and who is, or immediateother Contracting State shall be exempt from or research. in respect of remuneration for such teaching tax of the first-mentioned Contracting State ly before such visit was, a resident of the

## Article

not in excess of U.S.\$1,000 or its equivalent first-mentioned Contracting State in an amount or that such income is received in respect side that first-mentioned Contracting State who is, or immediately before being so in Japanese or Zambian currency for any first-mentioned Contracting State, of his personal services performed in the that such payments are made to him from outpresent was, a resident of the other Contractpresent in a Contracting State solely for a student or business apprentice who is of his maintenance, education or training by three consecutive taxable years. taxable year for a period not exceeding ing State shall be exempt from tax of the the purpose of his education or training Payments or income received for the purpose provided

## Article

tracting State. mentioned in the foregoing Articles of this tracting State which are not expressly Convention shall be taxable only in that Con-Items of income of a resident of a Con-

# 第二十二条

(1) (a) その所得につい だし、その控除の額は、 者に対して課されるザンビアの租税から控除される。 て租税を課される所得を日本国 ザ ンビアの居 て納付される日本国の租税の額は、その 住 者がこの条約の規定に従つて日本国に ザンビアの租税の額のうちその所 において取得するときは、 た 居 お

得に対応する部分をこえないものとする。

法の二 排重除課 方税

(a) (b) その居住者に対して課される日本国の租税 は、その所得について納付されるザンビアの租税の額は、 得が日本国 ただし、その控除の額は、 て租税を課される所得をザンビアにおいて取得するとき H (a) 本国 一の租税を考慮に入れるものとする。 当該配当を支払り法人がその利得について納付する日 0 控除を行なりにあたり、 の居 の居住者である法人の支払う配当である場合に 住者 がこの条約の規定に従つてザンビアに 日本国の租税の額のうちその所 日本国において取得する所 から控除される。 お

(2)

(b) 得に対応する部 (a) 0 控除を行 ならにあたり、ザンビアにおいて取得する 分をこえないものとする。

# 22

credit, imposed on that resident. allowed Convention, the amount of the Japanese tax of Zambian tax which is appropriate to that payable in respect of that income shall be in accordance with the provisions of this income from Japan which may be taxed in Japan income. (1) (a) Where a resident of Zambia derives however, shall not exceed that part as a credit against Zambian tax The amount of

credit, imposed on that resident. allowed as a credit against the Japanese tax payable in respect of that income shall be of the Japanese tax which is appropriate to this Convention, the amount of Zambian tax Zambia in accordance with the provisions of income from Zambia which may be taxed in (2) (a) Where a resident of Japan derives however, shall not exceed that part The amount of

account the Japanese tax payable in respect resident of Japan, the credit shall take into

is a dividend paid by a company which is

(b) Where the income derived from Japan

of its profits by the company paying the

dividend.

the dividend. respect of its take into account the Zambian tax payable in company paying the dividend, the credit shall per cent of the shares or the capital of the resident of Japan which owns not less than 25 resident of Zambia to a company which is a dividend paid by a company which (b) Where the income derived from profits by the company paying Zambia

当を支払り法人がその利得について納付するザンビアの租 は資本の二十五パーセント以上を保有するときは、 である法人に支払われる配当である場合において、

者であるその法人が当該配当を支払り法人

の株式又 日本国

当該配

が

ザンビアの

居住者である法人により日本国の居住者

that income.

(1)

一方の締約国の国民は、

他方の締約国において、同様の状

(ii) (i) よつて納付されたものとみなす。 とした場合に納付されたはずである租税の額は、 いずれかのものに従つて軽減又は免除が行なわれなかつた に限る。) (その範囲に ザ 第十条②及び第十一条②の規定 つい 納税者に

(c)

税を考慮に入れるものとする。

(1)及び(1)の控除の適用上、ザンビアの租税につき、

次の

(c) For the purpose of the credit referred

ンビアの経済開発を促進するための特別の奨励 て両締約国の政府が合意を行ならも 措置

(d)

(c)

の規定の適用上、

V

かなる場合においても、

(c) (ii)

ĸ

5

shall be deemed to have been paid by a taxrelieved in accordance with if Zambian tax would not have been reduced or payer the amount which would have been paid to in sub-paragraphs (a) and (b) above, there

- (i) the provisions of paragraph (2) Article 11; and Article 10 and paragraph (2) of
- (ii) the special incentive measures respect of the scope of such special ments of both Contracting States in agreement is made between the Government in Zambia, provided that an designed to promote economic developincentive measures.
- event, be deemed to have been paid an amount incentive measures mentioned in sub-paragraph reduction or relief of tax due to the special of tax higher than that which, but for the of sub-paragraph (c), there shall not, in any of signature of this Convention. of the Zambian tax laws effective on the date (c) (ii), would result from the application (d) In the application of the provisions

#### Article 23

are or may be subjected. Contracting State in the same circumstances requirements to which nationals of that other burdensome than the taxation and connected connected therewith which is other or more State to any taxation or any requirement not be subjected in the other Contracting (1) The nationals of a Contracting State shall

## 第二十三条

租税が納付されたものとはみなされない。

法の適用の結果課されたはずである租税の額よりも多額 ならばこの条約の署名の日に施行されているザンビアの税 う特別の奨励措置に基づく租税の軽減又は免除がなかつた

0

S よりも重い租税又はこれに関連する要件を課されることはな ることがある租税又はこれに関連する要件以外の又はこれら 況にある当該他方の締約国の国民が課されており又は課さ れ

ザンビアとの租税(所得)条約

れるものをいう。

ないで、当該一方の締約国の租税に関し当該一方の締約国の日体で、当該一方の締約国の租税に関し当該一方の締約国の日体で、当該一方の締約国の租税に関し当該一方の締約国の日本で、当該一方の締約国の法令に基づいて設立されての個人並びに当該一方の締約国の法令に基づいて設立されての国民」とは、いずれか一方の締約国の国籍を有するすべ

不利に課されることはない。行なり当該他方の締約国の企業に対して課される租税よりもに対する租税は、当該他方の締約国において、同様の活動を(3)一方の締約国の企業が他方の締約国内に有する恒久的施設(3)

に対して認めるととを義務づけるものと解してはならない。る租税上の人的控除、救済及び軽減を他方の締約国の居住者挟養するための負担を理由として自国の居住者に対して認め、一方の締約国に対し、家族の状況又は家族を

りも重い租税又はこれに関連する要件を課されることはない。とがある租税又はこれに関連する要件以外の又はこれらよ一方の締約国の類似の他の企業が課されており又は課されるは支配されているものは、当該一方の締約国において、当該は支配されているものは、当該一方の締約国において、当該の一又は二以上の居住者によつて直接又は間接に所有され又の一大の締約国の企業で資本の全部又は一部が他方の締約国ー方の締約国の企業で資本の全部又は一部が他方の締約国

(4)

(2) The term "nationals" means all individuals possessing the nationality of either Contracting State and all juridical persons created or organized under the laws of that either Contracting State and all organizations without juridical personality treated for the purposes of tax of that either Contracting State as juridical persons created or organized under the laws of that either Contracting State.

(3) The taxation on a permanent establishment which an enterprise of a Contracting State has in the other Contracting State shall not be less favourably levied in that other Contracting State than the taxation levied on enterprises of that other Contracting State carrying on the same activities.

This provision shall not be construed as obliging a Contracting State to grant to residents of the other Contracting State any personal allowances, reliefs and reductions for taxation purposes on account of civil status or family responsibilities which it grants to its own residents.

- (4) Enterprises of a Contracting State, the capital of which is wholly or partly owned or controlled, directly or indirectly, by one or more residents of the other Contracting State, shall not be subjected in the first-mentioned Contracting State to any taxation or any requirement connected therewith which is other or more burdensome than the taxation and connected requirements to which other similar enterprises of that first-mentioned Contracting State are or may be subjected.
- (5) In this Article the term "taxation" means taxes of every kind and description.

(5)

との条において「租税」とは、すべての種類の税をいう。

- 与する者 適用される租税の賦課及び徴収 (司法上の決定を含む。)に関 た情報は、 必要な情報を交換するものとする。このようにして交換され (当局を含む。)以外のいかなる者にも開示してはな 秘密として取り扱わなければならず、この条約が
- (2)のことを行なう義務を課するものと解してはならない。 ⑴の規定は、いかなる場合にも、一方の締約国に対し、 次
- (a) 行政上の慣行に抵触する行政上の措置をとること。 当該一 方の締約国若しくは他方の締約国の法令又はその
- (b) きない資料を提供すること。 いて又はその行政の通常の運営において入手することがで 方の締約国若しくは他方の締約国の法令の下にお
- (c) ることが公の秩序に反するような情報を提供すること。 若しくは取引の過程を明らかにするような情報又は公開す 営業上、事業上、産業上、商業上若しくは職業上の秘密

other than those concerned with the assessdisclosed to any persons or authorities is necessary for the carrying out of this ing States shall exchange such information as shall be treated as secret and shall not be (1) The competent authorities of the Contractment or collection, including judicial Any information so exchanged Article

Convention.

on a Contracting State the obligation: paragraph (1) be construed so as to impose (2) In no case shall the provisions of Convention applies.

determination, of the taxes to which this

- other Contracting State; ministrative practice of that or of the at variance with the laws or the ad-(a) to carry out administrative measures
- obtainable under the laws or in the that or of the other Contracting State; normal course of the administration of (b) to supply particulars which are not
- of which process, or information, the disclosure commercial or professional secret or trade disclose any trade, business, industrial, (c) to supply information which would would be contrary to public

# Article 25

(1) Where a resident of a Contracting State

ザンビアとの租税 (所得) 条約 不服申立

(1)

方の締

約国の居住者は、

他方の締約国においてとられる

第二十五条

手段とは別に、 けるに至ると認める場合には、 対し、その事案について申立てをすることができる。 置によつてこの条約の規 自己が居住者である締約国の権限のある当局 定に適合しない課税を受け又は受 両締約国の法令で定める救済

(2)案を解決するように努めるものとする。 権限のある当局は、この条約に適合しない課税を回避するた る当局が適当な解決を与えることができない場合には、 その申立てが正当であると認められ、 他方の締約国の権限のある当局との合意によつてその事 かつ、 その権限のあ その

(3)関 条約に規定されていない場合における二重課税を除去するた るものとする。 (して生ずる困難又は疑義を合意によつて解決するように努 両締 約国 「の権限のある当局は、この条約の解釈又は適用に 両締約国の権限のある当局は、また、 との

相互に協議することができる。

(4) 直 接相互に通信することができる。 両締 約国の権限のある当局は、この条約を実施するため、

## 第二十六条

ではない。 に基づく外交官又は領事官の租税上の特権に影響を及ぼすもの との条約の規定は、 国際法の一般原則又は特別の協定の規定

> considers that the actions taken in the result for him in taxation not in accordance competent authority of the Contracting State Contracting States, present his case to the the remedies provided by the laws of those with this Convention, other Contracting State result or will of which he is a resident. he may, notwithstanding

other Contracting State, with a view to the and if it is not able to arrive at an approif the objection appears to it to be justified this Convention. avoidance of taxation not in accordance with agreement with the competent authority of the priate solution, to resolve the case by mutual (2) The competent authority shall endeavour

consult together for the elimination of double arising as to the interpretation or applicamutual agreement any difficulties or doubts Convention. taxation in cases not provided for in this tion of ing States shall endeavour to resolve by (3) The competent authorities of the Contractthis Convention. They may also

directly for the purpose of giving effect to the provisions of this Convention. ing States may communicate with each other The competent authorities of the Contract-

special agreements. officials under the general rules of interfiscal privileges of diplomatic or consular national law or under the provisions of Nothing in this Convention shall affect the 文

以上の証拠として、下名は、

各自の政府から正当に委任を受

る所得について効力を失う。

た年の翌年の一月一日以後に開始する各課税年度において生ず

とし、この場合には、 約国に対して書面

この条約は、

その終了の通告が行なわれ

た後の各年の六月三十日以前に、

けて、

この条約に署名した。

0

締約国も、

との条約の効力発生の日から五年の期間

による終了の通告を行なりことができるもの

外交上の経路を通じ他方の締

この条約は、

無

期限に効力を有する。

ただし、

いずれの一方 が満了し

(1)

国内法上の手続に従つて承認されなければならない。この条 との条約は、 日本国及びザンビア共和国によりそれぞれの

(2)る各課税年度において生ずる所得について適用する。 との条約は、その効力が生ずる年の一月一日以後に開始す

の日に効力を生ずる。

約は、その承認を通知する公文が交換された日の後三十日目

the date of exchange of notes indicating enter into force on the thirtieth day after their respective such approval. and the Republic of Zambia in accordance with (1) This Convention shall be approved by Japan legal procedures,

years beginning on or after the first day of January in the calendar year in which this Convention enters into force. respects income derived during the taxable (2) This Convention shall have effect as

## Article

the date of its entry into force, give to the June in any calendar year beginning after the notice of termination is given. calendar year next following that in which or after the first day of January in the derived during the taxable years beginning cease to be effective in respect of income and, in such event, this Convention shall matic channel, written notice of termination other Contracting State, through the diplothe expiration of a period of five years from States may, on or before the thirtieth day of indefinitely but either of the Contracting This Convention shall continue in effect 0 n

Governments, have signed this Convention. duly authorized thereto by their respective IN WITNESS WHEREOF the undersigned, being

ザンビアとの租税(所得)条約

六六四

DONE in duplicate at Lusaka on 19th February, 1970 in the Japanese and English languages, each text having equal authenticity.

本語及び英語により本書二通を作成した。 千九百七十年二月十九日にルサカで、ひとしく正文である日

日本国のために

木村芳夫

E・H・K・ムデンダザンビア共和国のために

For Japan:
(Signed) Yoshio Kimura

For the Republic of Zambia:

(Signed) E. H. K. Mudenda